

東北支援「みんなの家」プロジェクト

くまもとアートポリス2011緊急企画

世界的に活躍されている建築家で、くまもとアートポリスコミッショナーである伊東豊雄氏が、東日本大震災において家を失ったり避難をされている方々に、精神的な安らぎを感じられる空間「みんなの家(※)」を提供するプロジェクトを提案されました。

県はその提案に賛同し、くまもとアートポリス(KAP)の事業として、県外で初めて展開することを決定しました。

※「みんなの家」:心の痛手を負っている人々に、もう少し人間的に、もう少し美しく、もう少し居心地が良くなる場を提供したいという思いからデザインされた、心の安らぎを得られる居間のような空間。

1 「みんなの家」プロジェクト

- (1) 建設主体:伊東豊雄氏、桂英昭氏、末廣香織氏、曾我部昌史氏
(KAPコミッショナー、アドバイザー)
- (2) 提供場所:宮城県仙台市内の仮設住宅エリアの一角
- (3) 事業支援体制
 - ①熊本県(KAPの人材育成事業の一環)
 - ・KAPコミッショナー、アドバイザーによる指導
 - ・県内学生、建築技術者の組立支援 など
 - ②県内建築関係団体等
 - ・県内技術者の派遣
 - ・県産材の提供・資材の運搬 など
- (4) 規模:木造(県産材使用)、平屋、面積は30㎡程度
- (5) 仕様:リビング、キッチン、トイレ など
- (6) 総事業費:約1,000万円(県や県内建築関係団体等が負担)

2 今後の日程

- (1) 設計:7月末に設計完了予定(KAPコミッショナー伊東氏自ら設計)
- (2) 着工:8月から建設準備にかかり、県内学生等のボランティアを募る
- (3) 完成:10月初旬を予定

3 その他

「みんなの家」プロジェクトに参画することで、本県での災害に備えるとともに、KAPのテーマ「学びつつ創る、創りつつ育む」に沿った人材育成事業に取り組みます。

また、その成果を広く周知するため、10月に熊本でシンポジウムを開催し、発表することとしています。

土木部建築住宅局建築課

アートポリス・UD班

担当者:森井、上妻

TEL:096-333-2537 (内線6230)